ルナ・ミクブライド

**日本語の経験**

日本語の経験が大きくて、難しい道でした。約2015にコミュニティーコレッジでこの言語を学び始めました。初めに、全部は結構簡単なものと基本的な内容でした。いつも最高の学生で、いい成績を挙げました。でも、2017年に東京に行って、問題点が現れてきました。その時、だいたい三学期が勉強しました。花見季節でしたから、どこでも見たら、たくさん人がいって、日本語を話していました。初めに、一つのソーダとか三つのとこ焼きとかの食品を買えて、簡単な日本語だけで使いました。でも、だんだん問題が浮かびました。店員と話し必要がありましたが、全部の敬語を分けれませんでした。その上、いつも心配したから、店員以外の人と話したくないでした。でも、話して頑張った時、間違いは多いでした。あそこで能力は貧しいと感じました。その後で、もっと頑張って決めました。

その夏で、CUボルダーという大学に行き始めました。コミュニティーコレッジは能天気だったから、難しい内容にもっともっと習ってきた時、問題も増えてきました。以前の授業と比べると、そのクラスはとても速いでした。その上に、聞く才能は悪いです。この問題は英語でも存在します。ですから、聞くの宿題や話すの宿題などは難しいでした。私も簡単に圧倒します。圧倒したところ、聞き外したから、時々クラスの内容を聞きました。でも、頑張り続けました。この間に、コンピューターサイエンスのクラスはますます難しくなりました。それでいて、日本語とこの難しい内容を学べました。

なかなかしませんでしたが、日本語の道で遠い行きました。でも、終わりも遠いです。近い将来で、留学しつもりです。東京に大きい問題がありましたが、今度、言語の道具が増えました。ちょっと心配します、でも、大切で、新しくて、楽しい経験を作ります。最高になるために、今と将来に頑張り続ける必要があります。